

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	33	—	事業名	学校開放事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	--------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち		
		分野別項目	5	だれもが楽しむ生涯スポーツを進める		
		施策の進め方	(3)	スポーツ振興体制の強化		
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市立小中学校の体育館及び運動場を学校教育に支障のない範囲で地域住民のスポーツ及びレクリエーションに開放する				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(市内在住、在勤、在学の方で構成されている10人以上の登録チーム)				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が生涯にわたりスポーツに親しみ、健康と体力の維持増進を図ることを目的とする。				
	事業を 構成する 事務事業	① 学校開放事業	継続	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							2,045
人件費(B)	千円	決算					2,825
総コスト(A)+(B)	千円	決算					4,870

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 利用率	%	目標	—	—	85.0	85.0	
			実績	—	—	74.9	73.6	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A より利用率を高めることを目標とし、過去5年間の利用率平均+5%を目指す。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市において実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標の利用率85%に対して、実績は73.6%であった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 学校開放事業は、おもにスポーツ少年団の利用が多く、一般市民グループの利用が低い傾向がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 杖ヶ池体育館に「学校開放事業の利用の仕方」などの掲示板を設置して市民に対するPRを行い、利用率の向上を目指す。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	学校開放事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

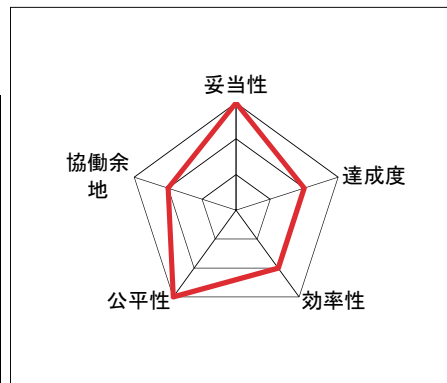
番号	①	事務事業名	学校開放事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市民（市内在住、在勤、在学の方で構成されている10人以上の登録チーム） 市立小中学校の体育館及び運動場を学校教育に支障のない範囲で地域住民のスポーツ及びレクリエーションに開放するもの
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	市民が生涯にわたリスポーツに親しみ、健康と体力の維持増進を図ることを目的とする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,691
		決算				2,045

6. 今後の方向性

継続
----

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用率	%	目標	—	—	85.0	85.0	
		実績	—	—	74.9	73.6	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

杵ヶ池体育館に「利用の仕方」などの掲示板を設置して、市民に対するPRを行い利用率の向上を目指す。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)